

地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。

今号では、中国・四国地域ブロックおよび九州地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

中国・四国地域ブロック から

中国・四国地域ブロック担当理事
杉山 博昭（ノートルダム清心女子大学）

2016年度の日本社会福祉学会フォーラムを、中国・四国地域ブロックで担当させていただき、3月26日（日）に岡山市で、「児童福祉法改正で何が変わるかー社会福祉実践がすべきことー」というテーマで開催しました。松原康雄会員（明治学院大学）による基調講演と、シンポジウムが中心でしたが、幸い他の地域からの参加も多く、充実したフォーラムとなりました。

中国・四国地域ブロックでは、毎年7月上旬頃に、ブロック大会を開催しております。2016年度は、山口県の宇部フロンティア大学を担当校として、山口県宇部市で「スクールソーシャルワーカーのあり方と方向性」というテーマで開かれ、山下英三郎会員による基調講演のほか、山口県内でスクールソーシャルワークに関わっている方々によるシンポジウムを行いました。2017年度は、広島国際大学の担当で「社会的孤立・生活困窮者に対する社会福祉からの支援」というテーマで開催を計画し、準備を進めてきました。

ブロック大会は毎回、開催校周辺の福祉関係者を中心に100名前後の参加があり、地域の福祉実践の課題を議論する場として成果をあげてきました。直面する福祉課題をテーマとし、実践者を中心としたシンポジウムなどの企画を立てる一方、自由研究報告により、会員の研究発表の場としています。

さらに研究を推進すべく、中国・四国地域の特定課題として、中山間地域をはじめとした、中国・四国地域の福祉課題に焦点を当てた研究に取り組み、ブロック大会でも特定課題セッションを設定しています。中国・四国地域の特徴は、島根、高知、山口が高齢化の上位の県であるなど、高齢化や人口減少が著しく、また中山間地域が多くあって、そうした地域に対応した福祉のあり方が求められていることです。課題が多い一方、新たな実践がなされているという積極面もあります。厳しい現実に向き合うとともに、現実を乗り越える福祉実践のあり方を明らかにしていきたいと考えております。

今年は、民生委員制度100周年ということで、記念の企画などが各地で行われているかと思えます。100周年の起点は、岡山県の済世顧問制度の発足にあります。日本の誇るこの地域福祉のシステムを生み出した伝統のある中国・四国ブロックが、その伝統を学術的な面からさらに発展させることができるよう、尽力していきたいと考えております。

九州地域ブロック から

九州地域ブロック担当理事
本郷 秀和（福岡県立大学）

今回の九州地域ブロックの活動をご紹介させていただくにあたって、はじめに先の熊本地震で被災された会員の方々に対しまして、紙面をお借りして心よりお見舞い申し上げたいと思います。熊本県では、地域により未だに地震が生じており、不安の中で生活されている学会員の方や福祉を学ぶ学生等もいると思います。震災後は、行政の取り組みに加えて、福祉系大学が福祉避難所として機能したり、近隣県等からの社会福祉協議会職員の派遣やボランティア活動など、様々な活動が官民一体でなされ、災害福祉の重要性を感じました。

さて、九州地域ブロックは約 494 名（2017 年 6 月 5 日現在）の会員から成り立ち、その内訳は福岡県 167 名、熊本県 80 名、佐賀県 29 名、大分県 34 名、長崎県 64 名、鹿児島県 60 名、沖縄県 26 名などとなっています。近年では、会員数の減少も懸念され、今後は入会の勧誘に取り組む必要があるようにも思います。

本年度の九州地域ブロックでの主な取り組みとしては、まず 5 月 20 日、21 日に開催された玉名市民会館ホール及び九州看護福祉大学（熊本県玉名市）における九州地域ブロックの研究大会があります。これは大会テーマを「多様性の日常化と社会福祉」とし、法政大学現代福祉学部教授の湯浅誠先生に「これからの福祉を考える ～ソーシャル・アクションの時代に～」というテーマでご講演を頂きました。その後、「多様性の日常化と社会福祉」というテーマで、身体障がい当事者、性別違和当事者、発達障がい当事者等によるシンポジウムを開催し、市民を含めて約 300 名のご参加があり、地元の新聞にも取り上げられました。また、2 日目は大学に会場を移し、分科会と総会が開催されました。次年度は沖縄国際大学で開催予定です。

次に、日本社会福祉学会全国フォーラムが 12 月 9 日（土曜日）に福岡市天神のアクロス福岡で開催予定となっています。これは、「高齢者福祉サービスの質の向上と経営」に関するテーマが予定されています。現在、フォーラム運営に関わる先生方との協力の下で進めていますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

最後に、九州地域ブロックでは研究誌「九州社会福祉学」を発行していますが、2018 年 3 月末には第 14 号が発刊予定となっています。現在はアーカイブ化を目指して、資料収集に取り組む予定です。